

Part B) 進捗自己評価表

Geopark Identity

1. ジオパーク名		
隠岐ユネスコ世界ジオパーク		
2. 再認定審査日	2017	
再認定期間	4年	○
	2年	

再認定審査の概要

カテゴリー	総点上限	取得得点 (申請時,Jan-17)	取得点数 (改正,Aug-17)
I. GGN 事業への貢献	320	235	280
II. 組織運営体制と財政状況	160	160	160
III. 保全と地質保全方針	100	70	70
IV. 戦略的協力関係	100	60	60
V. UGGN 認定後の市場戦略と普及活動	200	180	190
VI. 持続可能な経済発展	120	90	90
再審査書類の総合得点	1000	795	850

I GGN 事業への貢献

1.0 GGN ジオパーク会議とネットワークイベント (各参加会議につき 10 点ずつ)				
会義	場所	日付	代表者	自己採点
地域会議 (EGN,APGN,LAC 等)				
11 th European Geopark Confarence	Arouca Geopark	2012.9.19-21	山本和博	10
12 th European Geopark Confarence	Cilento and Vallo di Diano Geopark	2013.9.4-6	野辺一寛	10
The 3 rd Asia-pacific Geopark Network	Jeju-Island Geopark	2013.9.9-11	升谷 健	10
The 4 th Asia-pacific Geopark Network	San'in Kaigan geopark	2015.9.16-20	野辺一寛	10
国際会議				
6 th International UNESCO Conference on Global Geopark	Stonehammer Geopark	2014.9.19-22	野辺一寛	10
7 th International Conference on UNESCO Global Geoparks	English Riviera UNECSCO Global Geopark	2016.9.27-30	野辺一寛	10
ジオパーク集中研修コース				
国際ジオパークフェア				
JGN ブース	English Riviera UNECSCO Global Geopark	2016.9.27-30	野辺一寛	10
ネットワーク関係者会議 (GGN 総会、EGN/APGN コーディネーター会議等)				
6 th International UNESCO Conference on Global Geopark	Stonehammer Geopark	2014.9.22	野辺一寛	10
7 th International Conference on UNESCO Global Geoparks	English Riviera UNECSCO Global Geopark	2016.9.30	野辺一寛	10
The 4 th Asia-pacific Geopark Network	San'in Kaigan geopark	2015.9.15	野辺一寛	10
APGN コーディネーター会 議	English Riviera UNECSCO Global Geopark	2016.9.27	野辺一寛	10
		総点数 (100 点を超えないこ と)		100
いずれかの会議不参加の理由				

1.1 共同事業への参加（各事業 30 点ずつ）		
共同事業	役割（リーダー、パートナー、オブザーバ）	自己採点
日本のユネスコ世界ジオパーク 2017（冊子）	リーダー	30
共同出版：日本と中国のユネスコ世界ジオパーク	パートナー	30
ユネスコの活動を支援する ODA を活用した事業	リーダー	30
	総点数 (60 点を超えないこと)	60
コメント・詳細		
<ul style="list-style-type: none"> ・日本のユネスコ世界ジオパーク 2017（冊子）：8 地域の日本のユネスコ世界ジオパークを紹介する冊子で、隠岐ユネスコ世界ジオパークにおいて編集・印刷しました。 ・共同出版：日本と中国のユネスコ世界ジオパーク：隠岐ユネスコ世界ジオパークと香港ユネスコ世界ジオパークによって共同編集した電子出版物 ・ユネスコの活動を支援する ODA を活用した事業：ユネスコの活動を支援した 2016 年 ODA を利用して、東南アジアの主な 3 カ国の事業を対象に援助した。 		

1.2 共同活動への参加（各事業 15 点ずつ）		
共同活動	役割	自己採点
ユネスコジオパーク誕生フォーラムの開催	リーダー	15
香港ジオパークとの交流事業 APGN Experience Sharing Week(14-21 Dec 2016)	日本側のリーダー	15
CGN と日本の交流事業	リーダー	15
	総点数 (80 点を超えないこと)	45
コメント・詳細		
<ul style="list-style-type: none"> ・ユネスコジオパーク誕生フォーラムの開催：2015 年 11 月に世界ジオパークの活動がユネスコの正式事業となったことを記念し、JGN の全国研修会に合わせて「ユネスコジオパーク誕生記念フォーラム」を開催 ・香港ジオパークとの交流事業 APGN Experience Sharing Week：APGN 地域における国際交流の促進を行うために、隠岐ユネスコ世界ジオパークを含めた 7 地域の日本側のジオパークと香港ユネスコ世界ジオパークとの共同交流事業を 2016 年 12 月に実施した。 ・CGN と JGN 間の初めての交流事業：事業は、3 つ日本のユネスコ世界ジオパークにおいて、1 週間にわたって行いました。 		

1.3 共同情報発信への参加（各事業 15 点ずつ）		
情報発信	役割	自己採点
GGN ニュースレター		
GGN ウェブサイトへの記事提供	原稿の提供	15
EGN ウェブサイトへの記事提供		
共同リーフレット	JGN リーフレットへの原稿の提供	15
共同ウェブサイト	JGN ウェブサイトへの原稿の提供	15
その他	APGN への寄稿	15
その他	ジオエクスプロへの寄稿	15
	総点数 (80 点を越えないこと)	75
コメント・詳細		
I. GGN 事業への貢献 総得点 (320 点を越えないこと)		280

II. 組織運営体制と財政状況

2.0 運営体制

ここでは、ジオパークの運営体制と法的地位についてみます。
運営構造が世界ジオパーク認定後あるいは前回の再認定審査後にどう変わったか、概要述べてください。

運営体制、組織と法的地位についての記述

隠岐ジオパーク推進協議会は島根県と隠岐4町村の行政と観光協会、経済団体、交通事業者などによって構成されており、世界ジオパーク認定後、その名称を隠岐世界ジオパーク推進協議会に変更し、さらに、ユネスコの正式事業化に伴い名称を隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会とした。協議会に参画する団体も43から45に増加した。

また、事務局スタッフも6名体制から9名体制と増員している。(2016年12月現在)

なお、現在、協議会は行政が主体となった任意団体であるが、2018年度に一般社団法人の法人格を取得する予定である。

2.1 運営体制スタッフ	2013	2014	2015	2016	将来展望
学術スタッフ (正規)					
" (契約)	1	1	2	2	正規職員として採用予定
技術スタッフ(正規)					
" (契約)	1	1	1	2	
行政管理スタッフ(正規)	4	4	3	4	
" (契約)				1	正規職員として採用予定
レンジャー (正規)					
" (契約)					
合計	6	6	6	9	

2.2 財政状況

ここでは、ジオパークの長期的な財政実行可能性についてみます。ジオパークの財政状況が、世界ジオパーク認定後あるいは前回の再認定審査後にどう変わったか、概要述べてください。

経済状態について

隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会は独立した予算・財務管理を行っており、主な収入源は島根県、隠岐の島町、西ノ島町、海士町、知夫村の自治体からの負担金である。

また、協議会の予算はユネスコ世界ジオパークネットワークおよび日本ジオパークネットワークへの貢献と、地域内における人材育成、情報発信事業、企画・広報宣伝事業、調査研究事業等のソフト事業に充てており、遊歩道整備、トイレ整備、看板などの整備については、環境省および島根県、隠岐4町村がそれぞれ独自の予算で行っている。

予算	収入	支出	収支	コメント
2013	¥53,791,760	¥53,768,726	¥23,034	
2014	¥60,439,147	¥60,400,465	¥38,682	
2015	¥88,772,155	¥88,753,602	¥18,553	
2016	¥118,641,000	¥118,641,000	¥0	

2.3 運営体制と財政状況	コメント	自己採点
ジオパーク運営体制 (50点を超えないこと)	協議会の会員数および事務局スタッフの数も増加している。2019年4月までに、協議会の法人化を計画している。	50
ジオパーク財政状況 (50点を超えないこと)	協議会予算は着実に増加している。	50
再認定後の重要な方針変更 (20点を超えないこと)	隠岐ジオパークの運営を持続可能とするために、全体構想および行動計画を策定した。	20
ジオパークスタッフ 新規雇用の創出数 (20点を超えないこと)	協議会事務局員が3名増員となった。また、ジオパーク関係の法人が6名の新規雇用を行った。	20
再認定後の財政状況の改善についてのコメント (20点を超えないこと)	世界認定後、予算が2倍以上となった。	20
	総得点	160

II. 組織運営体制と財政状況総得点 (160点を越えないこと)

160

III. 保全と地質保全方針

<p>GGN 認定後あるいは再認定後の、ジオパーク主導でとられた保全と地質保全の達成度について</p>				
3.0 保全と地質保全方針				
いかなるジオパーク関係者も、地質標本等の売買に関わっていない	Yes	○	No	
保全関連において、大きな成功事例はあるか？	詳細			
	ジオサイトカルテを作成し、ジオサイトのモニタリング調査を行っている。			
保全関連において、重大な問題がおきていないか？	起きていない			
再認定後、保全されたジオサイトの数				
3.1 地質多様性と文化、生物その関係する遺産の関連性を改善するためとられた方策について				
文化的サイトで組織されたジオパーク事業はあるか	詳細			
	文化的サイトを含んだモニターツアーなどを実施している。			
ジオパーク遊歩道等に文化的サイトを取り入れたか	巨岩、巨木信仰の神社や祭り場など文化的サイトを取り入れている。			
ジオパーク遊歩道等に生物学的なサイトを取り入れたか	遊歩道沿いに生物学的な解説看板を設置するなど取り入れている。			
生物学的なサイトでの自然観察などの事業	多様な生物が生息する油井の池などでの観察会を毎年実施している。			

3.2 まとめ	コメント	自己採点
保全と地質保全方針 (50点こえないこと)	保全と地質保全の全般的な方針については2016年に作成した全体構想に記載しているが、詳細な計画については2017年に完成する予定である。	20
地質遺産と文化遺産 (50点こえないこと)	地質遺産と文化遺産についてもジオパークの資源として管理しており、ジオツーリズムにおいても積極的に活用している。	50
	Total Score	70

III. 保全と地質保全方針総得点 (100点を越えないこと)	70
------------------------------------	----

IV.戦略的協力関係

4.0 国内連携（各 10 点ずつ）		
組織	詳細	自己採点
博物館	三瓶自然館が協議会の部会員となっている。	10
地質調査所		
大学	大学の研究者が協議会のアドバイザーとなっている。	10
旅行会社・代理店	地元旅行会社が協議会の会員となっている。	10
共同事業	山陰海岸ジオパークとスタンプラリー、旅行商品の販売など共同で取り組んでいる	10
（公共）団体・機構	島根県および町村が協議会の会員となっている。	10
保護団体・組織	環境省 隠岐管理官事務所	10
	総点数 (60 点をこえないこと)	60

4.1 国際連携（各 20 点ずつ（正式な協定書があること））		
組織	詳細	自己採点
他の UGGP メンバー		0
国際組織 (UNESCO, IUGS, Europarks, Eurosites etc.)		0
	総点数 (40 点をこえないこと)	0

IV.戦略的協力関係（100 点を越えないこと）	60
--------------------------	----

V. 世界ジオパーク認定後の市場戦略と普及活動

5.0 マーケティングと普及活動			
ここでは、ユネスコ世界ジオパーク事業化後の市場戦略と普及活動の状況についてみます。証拠資料として報道資料や宣伝物のコピーを提出してください。			
活動 (10点ずつ)	詳細	参加者	自己採点
会議			
1.			
2.			
セミナー			
1. 隠岐世界ジオパークセミナー	首都圏からの誘客を目的として東京でセミナーを開催	約40名	10
2. 島根大学での講座	島根大学で隠岐ユネスコ世界ジオパークについてのセミナーを開催		10
教育プログラム			
1. 平成28年度隠岐体験事業	島根県内の小学生が隠岐ジオパークの魅力を経験するツアー	100人	10
イベント (文化フェスティバル)			
1. 2016 隠岐ユネスコ世界ジオパークフェスタ	島根県内からの誘客を目的として松江市内で開催。	約4,000人	10
2. 2015 隠岐世界ジオパークフェスタ	島根県内からの誘客を目的として松江市内で開催。	約4,000人	10
3. モンベルフレンドフェア	会員を対象として大阪と横浜で開催	約10,000人	10
観光パンフレット等の制作への参加			
1. ブルーガイド	最高ランクの3星で紹介されている		10
2. ロンリープラネット	隠岐世界ジオパークとして紹介されている。		10
3. 隠岐楽	隠岐観光協会の出版物。		10
	総得点 (60点をこえないこと)		60

上記で述べられた活動について、成功事例や問題点等について詳細を記載
<p>隠岐の観光パンフレットや旅行者が販売するツアー商品などには、隠岐ユネスコ世界ジオパークの冠をつけており、ブルーガイド、ロンリープラネットなどの海外のガイドブックにも掲載されたことから、2015年には交流人口数が対前年度比7千人の増および外国人訪問客が対前年度比で約290人増加している。</p> <p>また、隠岐ジオパークの玄関口である隠岐空港の愛称が2015年から隠岐世界ジオパーク空港となった。</p>

5.1 出版・広報（各10点ずつ）		
論文(作者,日付,題名,誌名)		自己採点
1. Brenna. et. al. (2015) A trachyte–syenite core within a basaltic nest: filtering of primitive injections by a multi-stage magma plumbing system (Oki-Dōzen, south-west Japan). Contrib Mineral Petrol 170		10
2. Matsubara et al. (2014) Miocene Mollusca from the Ichibu Formation on Nishinoshima Island, Oki Islands, Southwest Japan. Paleontological Research 18: 6-32.		10
3. Kusano et al. (2014) Occurrence of old groundwater in a volcanic island on a continental shelf; an example from Nakano-shima Island, Oki-Dozen, Japan. Journal of Hydrology 511: 295-309.		10
出版物(本、雑誌、リーフレット) (作者,日付,題名,誌名)		
1. 隠岐ユネスコ世界ジオパーク（マンガ雑誌、隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会、2016年10月）		10
2. 日本のユネスコ世界ジオパーク2017（日本のユネスコ世界ジオパークを紹介した冊子）		10
3. Adventure Japan, Oki Islands Geopark（英語、日本語、タイ語で隠岐ユネスコ世界ジオパークを紹介したリーフレット）		10
メディア(CD, DVD, TV やラジオ番組)		
1. 隠岐世界ジオパークプロモーションDVD		10
2. 風景に秘められた物語ー海岸の成り立ち編ーDVD		10
3. BSS ラジオ		10
出版物を送らないこと（審査員にのみ提供）	総得点 (40点をこえないこと)	40

5.2. 基盤整備			
ここでは、世界認定後あるいは前回の再認定後のジオパークの基盤整備の改善状況についてみます			
設備（新設あるいは改善のあったものに10点ずつ）	新設	既存設備の改善	自己採点
博物館		新しいパネルと展示	10
ビジターセンター		展示資料の充実	10

遊歩道等		遊歩道の修繕と案内標識の整備	10
解説版		内容の充実と GGN、UGGN ロゴの活用	10
その他		各港および空港にジオパークの横断幕を設置した	10
	総点数 (50点をこえないこと)		50

5.3 モニタリング		
ここでは、ジオパーク内の解説教材（看板、リーフレット等）のレベルやジオパークが実施した普及プログラムの質を評価し改善するために使われた手法をみます		
モニタリング（1手法につき10点ずつ）		自己採点
ジオパーク内で訪問者にアンケート調査を実施しているか		10
数だけでなく質に関するデータ収集もしているか		10
新規事業・計画等に、訪問者の意見を反映させているか		10
75%かそれ以上の来訪者が、施設やサービスについて、良いあるいはとても良いと考えているか		
75%かそれ以上の来訪者が、プログラムや活動について、良いあるいはとても良いと考えているか		10
	総得点 (50点をこえないこと)	40

V. 世界ジオパーク認定後の市場戦略と普及活動（200点をこえないこと）	190
--------------------------------------	-----

VI. 持続可能な経済発展

ここでは、ユネスコ世界ジオパーク認定が与える地域への良い面と悪い面の両方の影響と、ユネスコ世界ジオパーク認定が持続可能な経済発展にどのように寄与しているかをみます			
影響	有益面	マイナス面	自己評価
1. 地域経済			
農業	ジオパークを活用したブランド化に取り組んでいる。		
畜産業			
林業	ジオパークの環境保全として木質バイオマスによるエネルギー開発を行っている。		
30点をこえないこと			20
2. 観光発展			
旅行店・代理店	ジオパークブランドの旅行商品を販売している。		
レストラン			
宿泊施設	交流人口の増加と外国人観光客の増加により、来店者および宿泊客数が増加している。		
30点をこえないこと			30
3. ジオ観光的製品			
工芸品	ロゴマークを活用したパッケージなどを制作し商品販売に取り組んでいる。また、認定商品制度の構築によって質の向上に努めている。		
地質物品のレプリカ			
地場産品			
30点をこえないこと			10
4. 雇用			
新規正規雇用			
新規契約雇用	協議会事務局で1名の新規契約雇用		

新事業・会社	している。 ガイドを業務としている任意団体が持続可能な受け入れ体制の強化を目的として法人格を取得し、新たに4名の新規雇用を行った。		
その他	協議会の関係機関であるNPO法人隠岐しぜんむらがジオパークによる業務拡大を目的として、新たに2名の正規職員を雇用した。		
30点をこえないこと			30
	総得点(120点をこえないこと)		90
コメントー詳細			

VI. 持続可能な経済発展 (120点をこえないこと)	90
-----------------------------	----